

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第141号

平成30年10月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

横浜に戻ってきたロボフェスタ④



↑マグロボくん

「青少年のためのロボフェスタ2018」特集の最終号です。他の出展者の感想も聞きたい、という声が複数から届いていましたので、前号では出展団体の皆さんからの記述を掲載いたしました。各団体の皆様には、様々なご予定がある中、出展していただき改めて感謝申し上げます。

相澤ロボット →
大人と同じ身長です。



いつの時代も人型ロボットは子どもに人気！

“ロボット”としてまずイメージするのは、やはり人型ロボットではないでしょうか？ 今回のロボフェスタで特別展示した「相澤ロボット」(1960年代製)も、昭和の雰囲気非常に感じられる人型ロボットです。直線的なデザインが子ども達には逆に新鮮だったようで、注目を集めていました。

<p>21 ロボット相撲大会事務局</p>  <p>マイクロロボット(Proro)を使ったプログラミングとロボット相撲体験。小さいけれど高性能ロボットです。</p>	<p>22 神工科大&県相総合高校</p>  <p>神奈川工科大学と神奈川県立相模原総合高校の共同出展によるロボットプログラミング学習でした。</p>	<p>23 関東学院大学</p>  <p>キッズサイズ人型ロボットの操縦と木製ロボットのプログラミング体験。上手にできたら拍手！</p>
<p>24 ロボットゆうえんち</p>  <p>二足歩行ロボットを操縦して、サッカーやバスケットボールをしました。うまくゴールできたら拍手！</p>	<p>25 ロボットゆうえんち</p>  <p>Arduino を用いた数字の点滅や、モータの制御を学ぶプログラミング体験講座。9月1日限定の講座でした。</p>	<p>26 二足歩行ロボット協会</p>  <p>『第8回ロボ剣』ロボットアームによる人工知能を持つ二足歩行ロボットによる面・胴・小手！の剣道大会。</p>

Science Topics 【縁起のいい？生き物】

右の写真はヤモリです(事務局10月撮影、このヤモリは体長5cmほどで可愛い大きさでした)。「家守」という当て字があることから想像できるように、家を守ってくれる生き物です。ヤモリのエサは、主に人間にとっての害虫(シロアリ、蛾、ハエ、クモ、蚊など)です。しかも、人間の手が届きにくい外壁や天井にも移動して害虫を食べてくれます。つまりヤモリが家に住み着いてくれると害虫がいなくなることもあり、家の守り神的な縁起のいい生き物とされています。





今年が目玉の一つ、ホールイベント

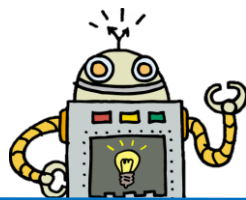
今年のホールイベントは、ロボット技術の最先端の内容を含みながらも、子ども達にもわかりやすい解説など興味を引くものでした。「この“ホールイベント”を目当てにロボフェスタに来た。」という方もいらしたほど、期待度も高い、内容の充実したイベントになりました。

aibo(アイボ)技術講演	World Drone Race	アイドロイド5ダンス
		
<p>SONYの最新犬型ロボット「aibo」の開発にかかわった森永氏(写真)による新型aibo実機の披露と技術講演。センサ技術、AI技術、アクチュエータ技術等を小学生向けのわかりやすい解説でした。</p>	<p>ドローン操縦の世界大会に日本代表として参加したこともある県内在住の高梨氏(写真)。当日は福島県で行われている世界ドローンレース日本予選会場から生中継で大会の様子を伝えてもらいました。</p>	<p>MANOI企画によるASTUMOアイドロイド5などのロボットが、楽しいロボットダンスや得意技を披露しました。また、小学生のロボットバトル体験など、子ども達に大人気のステージでした。</p>

今年の新企画！

今年のロボフェスタでは、子ども達にさらに楽しんでもらうために、また、出展団体さんの皆さんに情報交換していただくために、次の新しいスペースを設けました。

物販コーナー（グッズ販売）	産学公交流スペース
	
<p>出展団体による物販コーナーを設けました。数100円の工作キットから、数万円のロボットまで幅広い価格帯の販売品が並べられました。中には展示されていたり、体験できたりしたロボットも販売されており、多くの方が足を止めていました。</p>	<p>出展団体同士の情報交換の場が欲しいという要望にこたえ、設置しました。政策局科学技術グループによる知的財産教育（著作権など）に関するビデオの上映もありました。</p>



事務局から

4回にわたり「青少年のためのロボフェスタ2018」の様子や、来場者・出展団体へのアンケート結果を紹介してきました。6年ぶりに会場を横浜の県立青少年センターに戻し、規模を縮小しての開催でした。しかし、協議会の会員さんをはじめ出展団体の皆様のご協力のおかげで、来場者からは高い満足度をいただきました。皆様にお礼申し上げます。一方で多くの課題も頂戴しましたので、次年度開催に向けて工夫・改善を検討してまいります。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)



科学部は移転します。

事務局(科学部)10月移転

